

## パブリックコメント結果

意見数（有効回答数） 8名

資料 1

No	種別	榎原市環境総合計画（案）に対するご意見	回答（修正案）
1	オンライン	<p>本市のために、環境総合計画の策定、誠にありがとうございます。内容が多岐にわたり、関連する事業との関係性がとても分かりやすかったです。昨今、異常気象も夏冬ともに起こりやすくなっておりますので、今後、ますます本計画の重要性が高まってくると考えている所存でございます。</p> <p>一点、参考にとと思いますが、25「4R普及啓発」取り組みの例で、リサイクルフェア・子ども服やマタニティ服のリユースを通じ、資源の有効活用とごみの減量意識とあります。</p> <p>私がお伝えさせていただきたいのは、ご存じであると思われませんが、徳島県上勝町ごみステーションに併設されている「くるくるショップ」や「くるくる工房」を作ってみてはいかがでしょうかとという提案でございます。PFIのような手法でも良いかなと思います。</p> <p>くるくるショップにまだ使えるものをおき、捨てるのがもったいない物を循環させる仕組みであり、持ち込みは上勝町民限定だが、持ち帰りはだれでも可能です。</p> <p>またくるくる工房は、まだ使える物をリメイクして、商品として販売する場所でございます。</p> <p>榎原市では、多くの公有財産を保有されているので、遊休地や、施設再編の際に、是非ご検討いただければ幸いです。</p> <p>また、廃棄物処理施設と相関性をもたせることで、27「廃棄物の適切処理の推進」に記載ある廃棄物処理施設の安定した運営につながると思います。</p> <p>近年の本市の動きは、ストリートファイターシリーズや、飛鳥・藤原の世界遺産を目指すなど、大変、魅力的なものが多く、何かお手伝いできることがあればと思います。</p> <p>より良いまちにさせていただけますよう今後ともよろしく申し上げます。</p>	<p>本市では、再生家具や再生自転車を市民の方に低価格で還元する「リサイクルフェア」の開催、また、子育てグッズ等や古本を市民の方に無償で持ち帰ることができる「リユースコーナー」を設置し、リユース（再利用）の促進を行っているところで。</p> <p>今回、いただいた貴重なご意見を参考に、本市で実施可能なリユース等の取り組みについて調査・研究し、より一層の4R推進・啓発に努めてまいります。</p> <p>なお、今後、リサイクル館かしはらにおいて、古着のリユースコーナーの設置についても検討している段階です。実現した際には、是非ともご協力いただきますようよろしくお願いいたします。</p>
2	オンライン	<p>総合計画というよりテーマ出しのレベルなので何が計画なのかわからないです。それぞれのテーマごとにロードマップがあるのが計画なのでは？</p>	<p>今回の環境総合計画では、環境政策の方向性を記載する一方で、指標やロードマップ等具体的な内容については、個別計画等で設定させていただくことといたしました。その理由としましては、指標や取り組みについては、環境情勢の変化に応じて変わっていくものですが、環境総合計画と個別計画では、策定の時期にばらつきがありますので、記載内容に齟齬が生じるおそれがあります。そこで、指標や取り組みの整合性をはかるため、環境総合計画においては、環境政策のあり方について記載するものとし、個別計画でそれらを追求していくものとして整理させていただいております。</p>
3	オンライン	<p>意見が適切かどうかわかりませんがいつも感じていることをいいます。</p> <p>狭い道路での電柱の道路側への突き出しは危険でもあり また見目にも 遅れてる都市という感じかします。改善をお願いします。</p>	<p>いただいたご意見については、道路・交通行政に係るものであり、環境総合計画では所掌しておりませんが、担当課に対し、情報共有をさせていただきます。</p>
4	オンライン	<p>自然保護・生物多様性について</p> <p>私が野鳥を始め、野生動物が好きです。</p> <p>住んでいる慈明寺町は東に畝傍山、それに続く榎原神宮の森が広がり、西には榎原運動公園、周辺は田畑と自然環境に恵まれています。</p> <p>神宮の森にはフクロウ・オオタカなどの猛禽類、榎原運動公園にはクイナ、ヒクイナを始めハヤブサの仲間のチョウゲンボウなど希少な鳥たちも見られます。</p> <p>そして、キツネやタヌキもやってきます。</p> <p>ところが四条町に奈良県立医大の移転工事が始まり周辺の宅地造成もあり急速に環境が変化してきました。</p> <p>生態系のトップのオオタカ・フクロウなどは田畑のネズミや里山の小鳥たちを食べるし、ハヤブサの仲間のチョウゲンボウは昆虫を食べるため草原が減れば生息しにくくなるかもしれません。</p> <p>そして、藤原京の草原のわずかなススキにも、渡りの途中の希少な鳥たちがやってきます。</p> <p>なので、歴史的景観の保持と自然環境保護の観点から榎原神宮周辺や藤原京周辺に草原やヨシ原・ブッシュ等を意図的に残していただきたいです。</p> <p>畝傍山の麓、大谷・慈明寺に旧農業試験場跡地もありますが、老健等の誘致の声も聞こえます。</p> <p>貴重な高台の広場なのでそのまま自然公園として活用できないでしょうか？</p> <p>あと、冬鳥たちの越冬の場としての池（溜池）等も埋め立てられたりソーラーパネルの設置などで狭められたりしています。</p> <p>溜池もソーラーパネルを規制するなどできないでしょうか？</p> <p>開発も大事なことでありますが、生物多様性を保持できるのも自治体ではないかと思えます。希少な生き物が生活している場所を後世に残すため、調査と検討をお願いいたします</p>	<p>生物多様性を保全するため、榎原市、高取町、明日香村が連携し、平成29年に生物多様性飛鳥地域戦略を策定しました。その活動の一環として、飛鳥地域においてライトトラップを使用した昆虫相調査事業や、毎年選択した池の水を抜いて生物相の調査と外来種の駆除をおこなう事業などを実施しております。また、それらの成果については昆虫館の企画展や研究報告などで公開しています。今後も調査を重ね、より詳細なデータを蓄積するとともに、その公開を通して、生物多様性の保全に関する情報の発信、啓発普及に努めていきます。</p> <p>ご質問の榎原神宮、藤原宮跡、旧農業試験場跡地については国や県の所管となり、市の管轄外とはなっているものの、歴史的景観の保全という観点から、榎原神宮周辺は畝傍山風致地区に、藤原宮跡周辺は藤原宮跡風致地区に指定しており、この区域内での一定規模以上の行為については、許可を得なければならないなどの規制を設けております。</p> <p>溜池に関するソーラーパネル規制のご質問につきまして、当市ソーラーシステム等の設置基準に関する要綱を定め、建物の屋根へ設置する場合につきましては、風致地区等の設置を禁止する地域があります。地上や池への設置については設置できないという規制はしていませんが、本計画の関係計画である榎原市景観計画において、一定規模以上のソーラーパネル設置の際は届出が必要となり、景観への配慮を求めています。第1種風致地区内においては、ため池も含め設置はふさわしくない地域と考え、設置しないよう指導しております。</p>

No	種別	榎原市環境総合計画（案）に対するご意見	回答（修正案）
5	電子メール	<p>1. P3「2計画の位置づけ」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・奈良県や奈良市をはじめ他の自治体の環境総合計画や環境基本計画には、代表指標が明記されている。現行の「榎原市環境総合計画」でも、代表指標が設定されている。</li> <li>・だが、今回の計画案では、指標の明記がない。大きな方針転換である。</li> <li>・従って、「2計画の位置づけ」において、「指標等詳細事項は個別計画に定めることとし、この計画は環境政策における市の方針を定めるものとする」というような内容を、記載した方が、親切ではないか。</li> </ul> <p>2. P18の基本目標1における「脱炭素社会の構築の目標年度」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「脱炭素社会の構築」および「脱炭素社会の実現」と記載されているが、その目標年度の記載がない。</li> <li>・P4の「4目標期間」では、この計画の目標年度は2030年度と記載されている。そうであれば、「脱炭素社会の構築」および「脱炭素社会の実現」の目標年度は2030年度だと誤解を与える。</li> <li>・従って、「将来の脱炭素社会の構築」と2030年度ではないことを断っておくか、政府や奈良県に合わせて「2050年脱炭素社会の構築」とすべきではないか。</li> </ul>	<p>1. ご指摘の通り、環境総合計画と個別計画のそれぞれの役割について不明瞭であるため、「本計画においては、環境政策における市の理念や方針について記載するものとし、指標等詳細事項については本計画に紐づく個別計画等に記載するものとする。」という文章を、P3「2計画の位置づけ」に追記させていただきます。</p> <p>2. 脱炭素社会の実現という表現については、2030年度を目標年度とすると、2030年度に脱炭素社会を実現させるかのような誤解を読者に与える恐れがあります。一方で、本計画で用いております脱炭素社会の構築という表現については、あくまでも、脱炭素社会を築きあげていくこと、すなわち、進行のプロセスという意味をあらわしますので、2030年を計画の目標年度としていても齟齬は生じないものと考えております。</p>
6	オンライン	<p>総合計画案に対して</p> <p>3R.4Rの前に意識付けとして数年前から取り組んでる粗大ごみの個口回収の現実的な議論が必要かと思えます。意識が低い人間が監視のゆるい所に当たり前のように前日の晩(酷い方はもっと前)から分別もなく放置の状態、自宅前に置くことで最終廃棄も減少するし回収の細分化を真面目に議論すれば有効性は評価出来る事になると思えます。コストは大きくなるのは間違いないですが最終的な費用対効果は良くなる可能性はあると思えます、もちろん条例等で罰則を厳しく出来る議員の方がいることが大前提。未だにペットボトルですら分別もなく一般ゴミで捨てる家庭も散見される状況で難しいのなら、もっとゴミ袋の値段上げるとかも有効だと思えます。</p> <p>まだまだ一般的には環境どうのと言う話が出るとりあえず植樹とか公園増やすとか無為無策な案件が多いかと思えます、法規制でも必ず抜け道がありその隙間をくぐる方をどのように食い止める事が出来るのかを本当の意味で考えられる方がいらっしゃらない限りは改善されないと思えます。</p> <p>本気で環境考えるならアピールでは無く実際に議会にいらっしゃる(議員を含む)方々が粗大ごみの当番を現状で経験し前日から張り込みをし、カメラをつけるつけないを人情で否定したくなる事を実感することも必要かと思えます。</p>	<p>本市では、分別意識の醸成を図るため、ごみパンフレットの配布やごみ分別アプリの導入を行うとともに、ごみ出しマナーの不適切な方には注意・指導を行い、場合により現地調査を行うといった対応をしております。ごみ出しマナーの改善につながるよう、引き続き普及啓発を行うとともに、その手法についても研究・検討を行ってまいります。</p> <p>いただいたご提案について、現在の拠点収集を廃止し、戸別収集を行った場合、莫大な経費を要することが判明しております。市財政の悪化や廃棄物処理に伴う市民負担の増加を避けるためにも、拠点収集の維持をはかることが適当であると考えております。なお、現在、社会福祉の観点から戸別収集を実施しており、排出が困難な方を対象としたふれあい収集、70歳以上のみの高齢者世帯を対象としたリクエスト収集といったサービスを実施しております。</p>
7	オンライン	<p>総合計画としては理解するが、この計画をより具体的にどう進めるかをもう少しきちんとフォローすべきであると感じる。</p> <p>PDCAサイクルの中で、特に評価とそれを踏まえた見直しが必要かと思えます。たとえば、ごみの回収についてもビン・カンとは別の日に回収しているが、プラスチックごみは一般ごみと一緒に回収されている。ペットボトルにしても月1回の粗大ごみ回収日だけでは無理がある。</p> <p>住居近くにきちんとごみステーションを設置するなどして、分別を徹底すべきである。</p> <p>市民の意識を変えるにはまずインフラ整備や制度の見直しが必要であると感じる。</p> <p>より具体的な議論をしてほしい。</p> <p>以上。</p>	<p>今回の環境総合計画では、環境政策の方向性を記載する一方で、指標やロードマップ等具体的な内容については、個別計画等で設定させていただくことといたしました。また、これらの指標についての進捗管理といたしまして、学識、市民、事業者等によって構成される榎原市環境審議会により点検・評価をいただきます。これらのPDCAサイクルを回し、適切な事業執行を図りたいと考えております。</p> <p>ごみの分別品目及び収集制度の全体的な仕組みなどについては、環境負荷やごみの減量、市民の方の利便性や費用負担、市の収集・処理経費等様々な観点からも検討し、設定しております。いただいたご意見等も参考に、引き続き制度の研究・検討を行ってまいります。</p>

No	種別	榎原市環境総合計画（案）に対するご意見	回答（修正案）
8	<p>オンライ ン</p> <p>①7ページ マイクロプラスチックについて海洋汚染とありますが、マイクロプラスチックは大気も汚染しているという研究があるようです。もう少し調べて、文章の変更を希望します。</p> <p>②8ページ デジタル化は必要だと思いますが、一番気になるのはセキュリティです。そこにも言及して頂きたいと思います。</p> <p>③27ページ 高齢者のごみ出し支援は助かります。大型のごみ、例えばソファを出す場合、中のパネを取り出すことを求められてますが、高齢者が作業を行うことは不可能です。支援の中身の具体化をお願いします。</p> <p>④自分に出来ることは出来るだけしようと思っています。 古紙はマンションで回収し業者さんが持って行ってますが、古布古着はコロナ禍で中国への輸出が困難になり中止に。管理人さんをお願いして最近再開されました。国内でもリサイクルされていると聞きます。知り合いは燃えるごみとして出しています。古着を回収する店も増えて来ましたが、その店で購入したものに限られたりで不便です。市でペットボトルのように回収出来ないのでしょうか？</p> <p>⑤神奈川県厚木市では、燃えるごみとプラスチックは完全に分けて出しています。榎原市は一緒にいいと聞いていますが、それでいいのでしょうか？プラスチックはリサイクル出来ますし、燃やしてしまうのはどうなのでしょう？</p>		<p>①ご指摘の通り、マイクロプラスチックが大気中からも発見されたという研究報告がありますが、まだ、調査研究も少なく、今後進展していく分野であると把握しております。知見が集約され国の対策が明確化した際には、市民の皆様への周知を図っていきたくと考えております。</p> <p>②いただいたご提案について、情報セキュリティに係るものであり、環境総合計画では所掌しておりませんが、もちろん、セキュリティに関する取り組みについても適切に実施しております。</p> <p>③高齢者のごみ出し支援等の詳細については、個別計画等で定めることとしており、環境総合計画内には記載はしておりません。なお、質問のソファについて、ごみとして出す場合は、なるべく可燃部分を取り除いていただくようご案内しておりますが、困難な場合もあると承知しております。可能な限りでご協力いただければと思います。</p> <p>④日頃より、ごみや資源のあり方について考えていただき、誠にありがとうございます。古着については、分別収集に多額の経費を要することが判明していることから、現在、分別収集はしておりません。なお、リサイクル館かしはらにおいて、再使用可能な古着をお持ちよりいただくとともに、それらを必要とされる方が持ち帰っていただけるよう、古着のリユースコーナーの設置について検討しております。実現した際には、是非ともご協力いただきますようよろしくお願いいたします。</p> <p>⑤プラスチックのリサイクルについては、分別収集・資源化処理過程において莫大な経費がかかるとともに、さらなる燃料や電力等のエネルギーを要し環境負荷も増加します。環境負荷やごみの減量、市民の方の利便性や費用負担、市の収集・処理経費等様々な観点からも検討し、現在は、可燃ごみとして処理していただくよう案内しております。一方で、国の動向を注視するとともに、先進事例の調査研究を行い、制度設計について検討や見直しを図ってまいりたいと考えております。</p>